

コース 39 あまかざりやま 雨飾山

リーダー CL N/S SL E/S
 実施日 平成24年10月21日(日) 天候 晴れ
 参加者 21 (男性 10 女性 11)
 グレード C上~D
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		4:25	新津駅西口經由磐越道、北陸道
雨飾高原駐車場	8:00	8:15	駐車 50 台が既に満車、第 2 駐車場へ
荒菅沢	10:05	10:10	布団菱の岩峰と美しい紅葉が映える
山頂 1,963m	12:24	12:34	枝峰の急登とザレ場、ハシゴ、笹平から山頂へ
笹平	12:50	13:20	寒さを堪え昼食。素晴らしい景色を堪能
荒菅沢	14:40	14:50	この先のブナ平では秋の観賞会
雨飾高原登山口	16:40	16:50	全員下山。小谷「深山の湯」で温浴
新津駅西口	21:10		秋葉区役所前經由

山行等概要（幹事のコメント）

- 上りはスローペース。30 分間隔で休憩を取りながら登った。
- 全山紅葉で正にどこを見ても、陽に輝き華やいでいた。
- ブナ平では凜とした幹太のブナが青空と黄葉が光に映え、目に焼きつく程の景観。
- 荒菅沢では布団菱の岩峰と美しい紅葉とで素晴らしいの一言。
- 山頂は、紅葉に染まる山々360 度の大展望。
- 秋の山行を満喫できたことに感謝いたします。



山頂にて

「雨飾山登山に参加して」

(237) R/H

10月21日雨飾山への登山に参加しました。「小谷」を「おたり」と読む古雅な地名、また「雨飾」というロマンの香りに包まれた山の名にも魅かれて、かねてから一度は登ってみたい山の一つでした。

幾度かのチャンスを逃し、今回も数日前から風邪気味で心配でしたが何とか克服、当日は秋晴れの快晴に恵まれて時期はまさに「紅葉まっ盛り」「ラッキー」という感じです。

「紅葉、晴天、日曜」と重なって2ヶ所ある駐車場の登山口に近いところは満車、手前の駐車場で降り、登山口まで歩きます。しばらくは木道の湿原を15分くらい歩くと、いよいよ登りとなります。湿原のあたりからもう紅葉がはじまり、これから登るにつれてどんなに素晴らしい紅葉に出会えるかと心をわくわくさせながら登り始めました。

登るにつれてだんだん急登になり、あたり一面紅葉のトンネルです。足元に気をつけながら頭上の紅葉に癒され、また木々の間から望む山々の錦の絨毯が本当にすばらしく、写真を撮りまくりました。なかなかの急登でしたが30分おきに小休止をとってもらい、まずブナの大木が目立つところに着きました。見事な紅葉です。しばらくは緩やかな登り下りをくり返し荒菅沢にくだる前の見晴らしの良いところに着きます。そこからの眺望もすばらしい、布団菱が迫力満点、圧倒されしばし展望を楽しみました。荒菅沢までは急降下15分位の下りです。沢に着き周りの景色を眺めながらの一休みです。



沢の水の冷たいこと、喉を潤す人もいます。沢を渡りまた急登が続きます。紅葉に眼をやりながらひたすら登る一番きついところでしたが、がまんがまんと言いつつどんどん高度をあげていき、しばらくすると展望が開けて笹平です。一面の笹原、前方にはこれから登る雨飾山の山頂が、山頂には大勢の登山者の姿が見えます。笹の原をしばらく歩き山頂近くの笹平に

ザックを置き、空身で山頂を目指します。風があり気温もぐんと下がってきたので一枚上着を羽織り、最後の20分の登りです。12時過ぎになり朝食を早めに食べたせいか少々スタミナ切れできつい、お友達にいただいたアンパンを口にしながらの登り、ようやく長年憧れていた雨飾山の山頂に到着です。

山頂は双耳峰になっていて右の山には小さな祠、左の山には三角点と標識があります。山頂は狭く人で満杯でした。山頂からの眺望を堪能、快晴で北アルプスの山々を一望できとても感無量でした。また、笹平や周辺の山々の紅葉に眼をやり苦しく、きつかったことはもうすっかり忘れてしまう、これが登山の醍醐味ですね。



存分楽しんだら笹平まで下って昼食、体が冷えていたので暖かいラーメンの美味しかったこと。体が寒くなり食べ終わると早目に下山することになりました。名残惜しい気持ちで振りかえりながら、しっかり目に焼き

付けて下ります。下りも気がゆるせません。急降下の連続で梯子も何か所かあり、浮石もありよくこんなところを登ってきたものだと思いながら慎重に足元を確かめながら下ります。紅葉の山々も日に映えて一段と鮮やかに見えました。木の根っこや粘土土の登山道で滑りやすく慎重に下り無事に登山口に着きました。秋の日は短く車に乗る頃には夕暮れになっていました。疲れた体を温泉で癒し帰路に着きました。

一日秋の紅葉を満喫でき、本当に楽しい登山でした。山との出会いは一期一会。機会があったらまた会いたい山になりました。リーダーさん、皆さんありがとうございました。





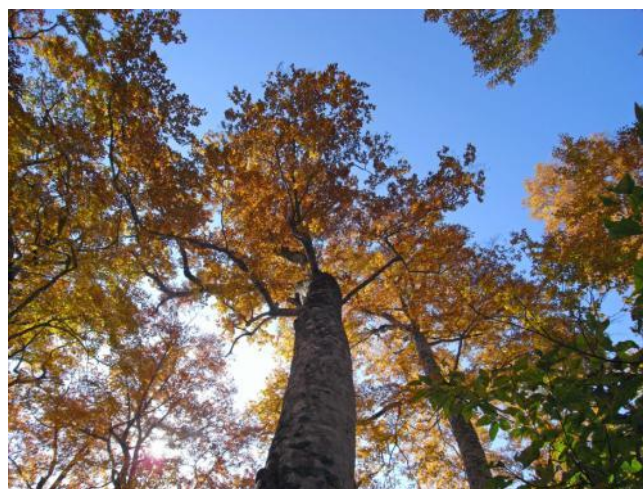
登山道入口の案内図



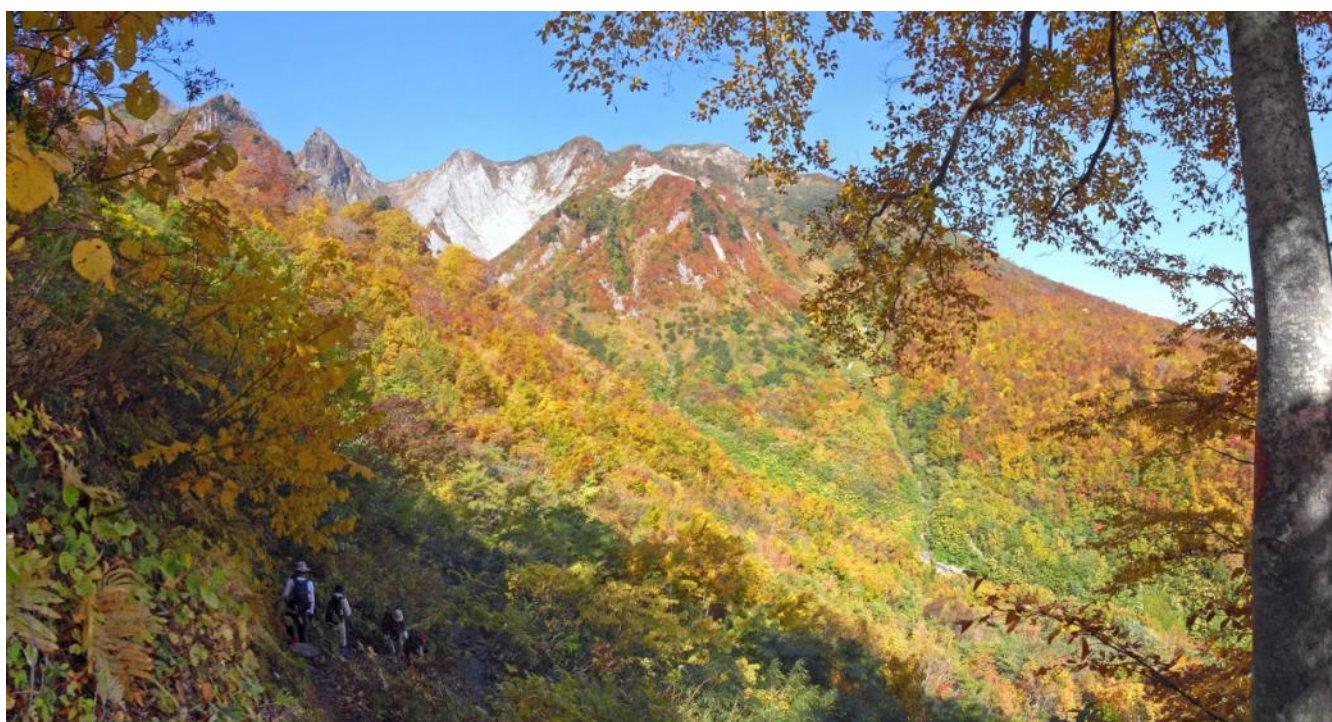
木道を行く



ブナ林内の登り



ブナ大木の紅葉と青空



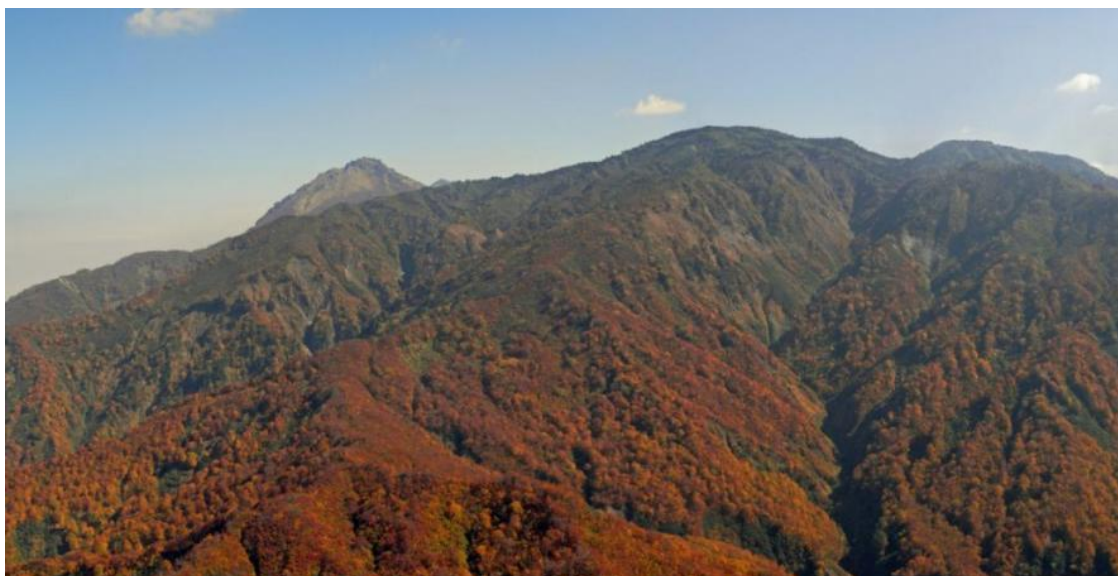
布団菱の岩峰と美しい紅葉



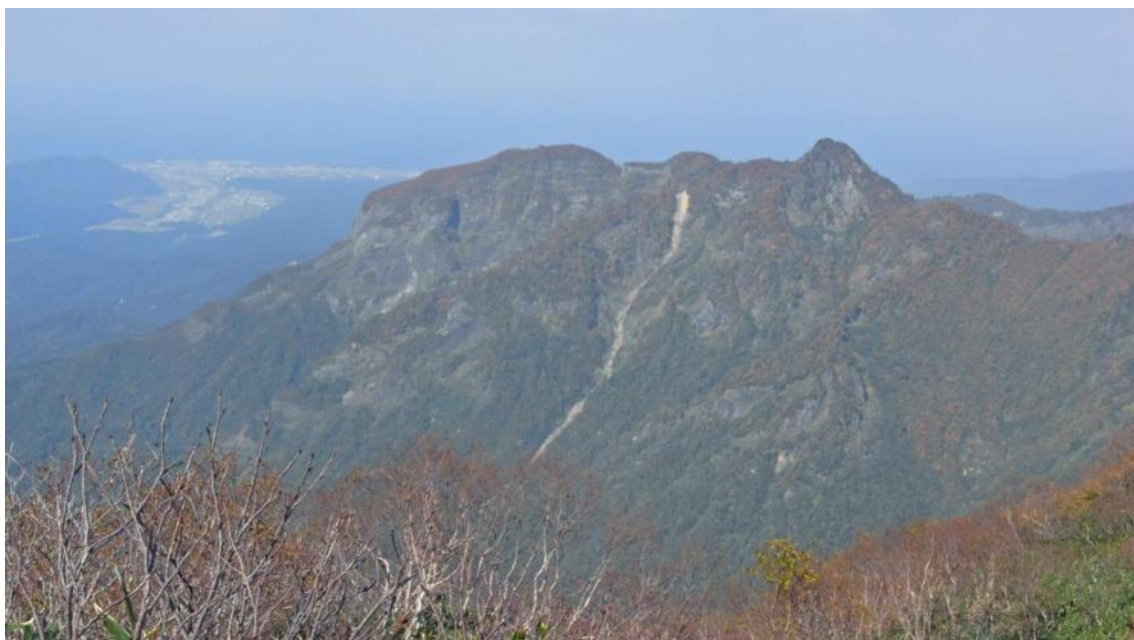
岩菅沢からの紅葉の布団菱



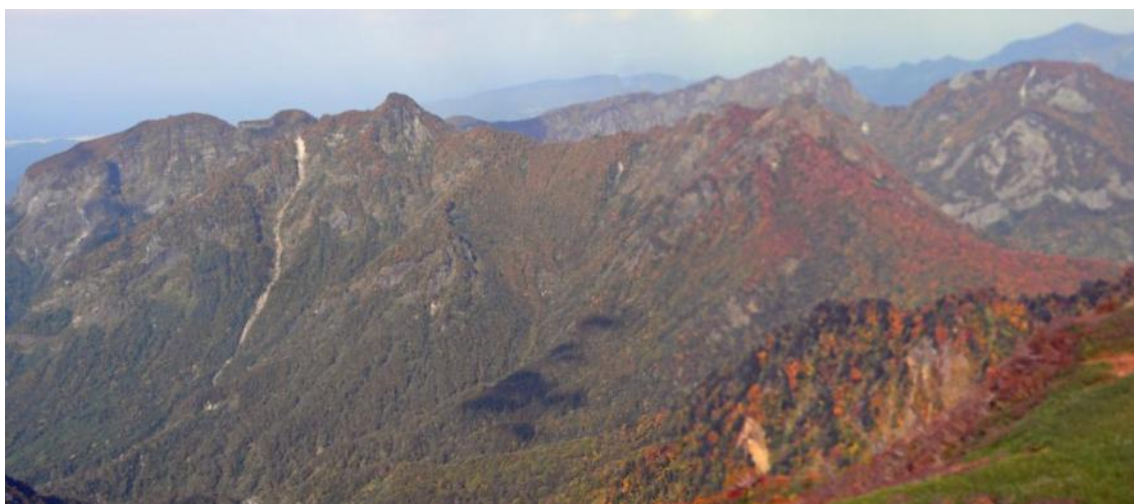
岩菅沢と布団菱 青空が映える



ピラミットは焼山 2,400m,と紅葉が映える金山 2,245m



左から糸魚川市街と駒ヶ岳 1,487m、鬼ヶ面山 1,591m,鋸岳 1,631m



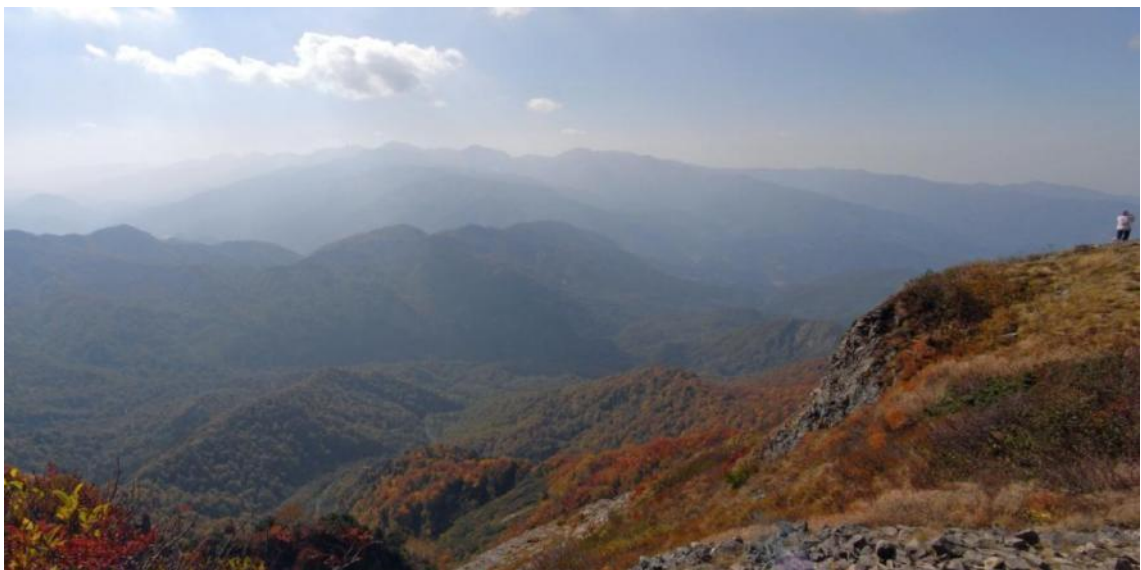
駒ヶ岳から連なる金山方面 奥は屋間山?1,841m



登ってきた笹平の緑と右下には荒菅沢の紅葉、金山そして奥に焼山、火打山



荒菅沢を見下ろす



遠くに戸隠連山が見える
残念ながら白馬岳の北アルプスは霞んでいた



双耳峰の北峰にて。後ろに石仏と祠がある。



雨飾山南峰山頂にて



逆光の 雨飾山山頂を望む



下山開始



最大の難所である岩場を慎重に下る



乙妻山 2,318m と高妻山 2,352m を望む



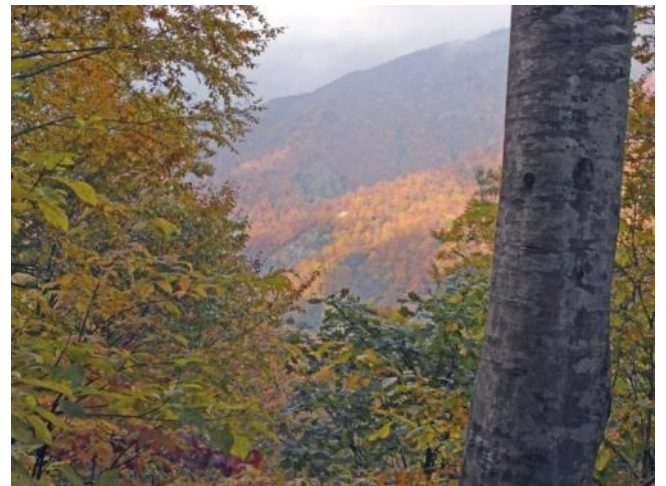
布団菱の尾根に薄雲が掛ってきた



ブナ林の紅葉



足元が滑り易いのでゆっくり下山



日射しのある山は朱に染まる